



フードバンクひこね (彦根市)



私たちは、地域のフードロス削減に取り組みながら、子ども食堂や食品を必要とする方々へ食材を提供する「フードバンク」を行っている団体です。スタッフは、学生から社会人、シニア世代まで、すべてボランティアです。

家庭で使われずに余っている食材や、規格外等の理由で売り物にならない野菜などを受け取り、市内の子ども食堂へ提供し、地域における子ども居場所づくりに活用いただいています。また、このコロナ禍において生活状況が悪化し困っている方が増えていること

食材の「もったいない」を「ありがとう」へ
フードバンク&フードパントリーを
通したつながりづくり



すにはどうすればよいか」を地域全体で考え取り組むことにつながることを願って、これからも活動を進めていきたいと思えます。

から今年6月から毎月2回「フードパントリー(食材の配布会)」を開催し、必要な食材を持ち帰っていただいています。

こうした取組に共感いただき、市内スーパーでは食材を回収する「フードバンクポスト」を設置いただいたり、農協の直売所に野菜やお米の寄付を呼びかけるポスターを掲示いただいたり、地域全体で食品ロスをなくし、「もったいない」を「ありがとう」へつなげていく輪が広がっています。私たちの取組を知ってもらうことで、食材を捨てるのではなく、フードバンクへ寄付することが当たり前になればと思います。そして「フードロスを無くすにはどうすればよいか」を地域全体で考え取り組むことにつながることを願って、これからも活動を進めていきたいと思えます。



フードバンク
フードパントリー
by フードバンクひこね

フードバンクひこね

ボランティアスタッフ(約25名)

子どもから大人まで、幅広い世代と一緒に楽しく活動しています。コロナ禍で人とつながれない時間があったからこそ、感染症対策しつつ、この活動でいろんな人に出会えることが楽しく、やりがいを感じています。また、人と人との

つながり、応援の輪が広がっていることも原動力となっていて、フードバンクはみんなの大事なコミュニティになっています!

共同代表 村田 大河さん

三方よし!!でフードエコ・プロジェクトとは・・・

滋賀県では、近江商人が昔から大切にしていた、売り手よし・買い手よし・世間よしの「三方よし」の精神をもとに「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に取り組んでいます。ちょっとした心がけで売り手よし!買い手よし!環境よし!と誰もが笑顔で「よし!!」となるプロジェクトに、ぜひご協力ください。



よしーくん

「三方よし!!でフードエコ・プロジェクト」に関するお問い合わせ

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 TEL:077-528-3477 FAX:077-528-4845

